

加茂処理分区

2 0 2 5 年 度

福 山 市 御 幸 町 地 内

下 水 道 施 設 撤 去 工 事 (7 - 1) 実 施 設 計 書

当 初	
工事延長	60.8 m
管渠工(撤去)管径250mm	40.5 m
既設1号マンホール撤去工	1 箇所
グラウト閉塞工	19.4 m
付帯工	1 式
工 事 概 要	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局工務部管路整備課の発注する工事に適用する。

第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-」〔(公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
 2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
 3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表とのおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
 4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
 5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
 6. 工事開始日以降40日以内に着手すること。
 7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下・振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。

2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。

3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。

4. 事業損失が発生する可能性があるときは 監督員と協議すること。

第4節 主任（監理）技術者の配置等

- #### 主任（監理）技術者の配置等

専任(監理)技術者の専任期間

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）

②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

工場製作のみが行われる場合、工具の手作業時間は、生産性向上のため、時計測定による評価が行われる。

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任

(監理)技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

- ## 2. 主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

①技術者の死亡、傷病による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要な場合

②受注者の責によらない理由により工事終了止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき

③備案、ボンノ、ケート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）、技術者の技術力が同様に人に傳承されるとともに、工事の相続、離島年度等に応じて一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質

理) 技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

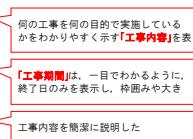
第2章 施工

第Ⅰ節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
 2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
 3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
 4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
 - 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通様式」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
 2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
 3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
 4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
 5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
 6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。
 2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
 3. 交通誘導警備員の積上げ人數は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従て、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人數の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
 4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
 5. 交通誘導警備員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
 6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合には、交通誘導警備員Aを誘導日あたり1名以上配置すること。

第4節 管路及びマンホール

- 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS [K-1]（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS [A-11]（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS [A-11]（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 下水道用鋳鉄製マンホールふたは、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS [G-4]（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鋳鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS [K-9]（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 下水道用鋳鉄製防護ふたは、「福山市型鋳鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS [G-3]（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鋳鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS [K-6]（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS [A-6]（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 現場管理

- 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
- 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
- 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

第6節 地下埋設物

- 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
- 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者へ提出すること。

第7節 環境対策

- 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
- 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
- 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
- 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
- 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『I-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 工事用地

- 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第9節 情報共有システムの利用

- 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
- 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム <http://www.hidobokuk.or.jp/koujijyouhoushisitemu2.html>
- 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引（土木工事）」に基づき運用すること。

第10節 週休2日適用工事

- 週休2日適用工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする工事であり、本工事が発注者指定対象であるかは、施工条件表を参照すること。
- 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
- 「受注者希望型」とは、発注者が週休2日適用対象として発注者が指定した工事で、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

第3章 材料

第1節 埋戻材（処理土）

- 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- 1により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
- 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
- 工事完了時には、計量伝票等及び試験結果等を提出すること。
- 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指數	800KN/m ² 以上

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

- 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時たい積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時たい積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時たい積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
- 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。

第2節 建設汚泥

- 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、入り調査等を行なうこと。
- 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、入り調査等を行なうこと。
- 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
建設発生土について、500m³以上（一時たい積場については500m³/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m²以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日にについて、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正值を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正是、「積算寒冷地域で施工時期が冬季となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正值を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正值（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正值の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 8. 檢査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

施工条件表

対象工事名 : 下水道施設撤去工事（7-1）

項目	事 項	該 当		内 容																									
① 計画準備関係	施工計画書等の提出	<input checked="" type="radio"/>	あ り	<input type="radio"/>	なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。																							
		<input checked="" type="radio"/>	あ り	<input type="radio"/>	なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。																							
	変更図面の作成	<input checked="" type="radio"/>	あ り	<input type="radio"/>	なし	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。																							
	取付ますの設置	<input type="radio"/>	あ り	<input checked="" type="radio"/>	な し	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。																							
	誓約書の提出	<input checked="" type="radio"/>	あ り	<input type="radio"/>	な し	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。																							
	協議	<input checked="" type="radio"/>	あ り	<input type="radio"/>	な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>関係機関</th> <th>事 項</th> <th>協 議 の 内 容</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関</td> <td>関係法令</td> <td>関係法令に対する、届出、許可など</td> <td></td> </tr> <tr> <td>沿線商店</td> <td>車両出入口</td> <td>施工時間及び作業時間外の交通規制形態</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>施工方法等</td> <td>地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関係機関	事 項	協 議 の 内 容	備 考	関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など		沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態		その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明								
関係機関	事 項	協 議 の 内 容	備 考																										
関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など																											
沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態																											
その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明																											
段階確認	<input checked="" type="radio"/>	あ り	<input type="radio"/>	な し	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。																								
情報共有システム	<input type="radio"/>	あ り	<input checked="" type="radio"/>	な し	設計金額3,500万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。																								

項目	事 項	該 当		内 容				
② 工程関係	工事期間	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> な し	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし40日間を、検査期間は14日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。				
				<input checked="" type="checkbox"/> 準備期間	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事施工期間	<input type="checkbox"/> 建物等調査期間	<input type="checkbox"/> 変更協議期間	<input type="checkbox"/>
	関連する別途工事	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	<input checked="" type="checkbox"/> 後片付け期間	<input checked="" type="checkbox"/> 検査期間	<input type="checkbox"/> 水道管移設期間	<input type="checkbox"/> ガス管移設期間	<input type="checkbox"/>
				本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。				
③ 用地関係	制約条件	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。				
				場所	制約の要因	制約の内容		備考
	借地	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	全体	円滑な交通の確保	施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。		
③ 用地関係	工事用地	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	次のとおり、借地を見込んでいる。				
				場所	目的	面積	使用後の処置	備考
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し					
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。				
				場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し					

項目	事 項	該 当		内 容					
(4) 周辺環境保全関係	建設公害の処置	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
				項目	処理方法	備 考			
	建物等の調査			建設機械（全般）	排ガス対策型の使用				
				一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。					
	井戸の調査及び その他の調査等	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	調査内容	調査項目	数量	備 考		
	六価クロム溶出試験 の実施			一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及び その他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
				調査内容	調査項目	数量	備 考		
	濁水・湧水の処理	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。					
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し						

項目	事 項	該 当		内 容						
⑤ 安全対策関係	近接施工	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。						
				場所	近接する施設	条件	備考			
⑥ 埋戻関係	作業時間内の埋戻復旧	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> な し	開削部	水道管	近接箇所の人力掘削				
				作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。						
⑥ 埋戻関係	処理土	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	処理土の購入先は、建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。						
	流用土（現場内流用）	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	埋戻土は、現場発生土の一部を流用することとしている。						
	流用土（他工事流用）	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難い場合は、別途、協議すること。						
				他工事名	搬入場所	搬入時期	備考			
	真砂土	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し							
品質管理	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	品質管理頻度	埋戻土量・試験回数	試験方法	(次のいずれか)				
				埋戻土量500m ³ につき1回 ただし、50m ³ 未満の場合は省略できる。		簡易貫入試験 (土研式円すい貫入試験)	市道 14回以上/10cm 県道 17回以上/10cm			
						現場密度試験	90%以上	(複数回の場合異なる層、位置で実施)		

項目	事 項	該 当		内 容																														
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。																														
	建設汚泥（泥土）	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>搬出場所</th> <th>運搬距離</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				種別	搬出場所	運搬距離	備考																							
種別	搬出場所	運搬距離	備考																															
建設汚泥（泥水）	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>搬出場所</th> <th>運搬距離</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				種別	搬出場所	運搬距離	備考																								
種別	搬出場所	運搬距離	備考																															
特定建設資材の廃棄物	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>搬出場所</th> <th>運搬距離</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アスファルト殻</td><td>福山市駅家町服部永谷470</td><td>仕様書のとおり</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリート殻</td><td>福山市加茂町字北山992</td><td>仕様書のとおり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				種別	搬出場所	運搬距離	備考	アスファルト殻	福山市駅家町服部永谷470	仕様書のとおり		コンクリート殻	福山市加茂町字北山992	仕様書のとおり																	
種別	搬出場所	運搬距離	備考																															
アスファルト殻	福山市駅家町服部永谷470	仕様書のとおり																																
コンクリート殻	福山市加茂町字北山992	仕様書のとおり																																
建設副産物情報交換システム	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。																															
広島県土砂の適正処理に関する条例	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。																															
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し																																
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し																																

項目	事 項	該 当		内 容						
⑧ 仮設関係	土留	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。						
				場所	工法	土留種別	備考			
	仮設(土留)材料の残置			開削工	たて込み簡易土留工		ヒーピング、ホーリングの恐れのない砂質、礫質、粘性土			
	路面覆工	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。						
				場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考		
	覆工材料の残置	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。						
				場所	仕様	数量	付属部材	備考		
	水替	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。						
	仮設電力設備	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。						
				場所	設備の種類			備考		
	一般搬入道路	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	開削水替工	<input checked="" type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電			
					<input type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電			
					<input type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電			
	仮設道路	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。						
				搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考		
				全ての道路	工事期間	8時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合		
	仮設道路	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。						
				期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考		

項目	事 項	該 当		内 容					
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。					
				場所	確認物件	方法	備考		
	本工事に含まれる移設工事	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。					
				場所	移設物件	移設の形態	設計見込金額（税抜）		
⑩ 地盤改良・推進関係	工事支障物件	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。					
				場所	支障物件	内容	備考		
	薬液注入	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。					
				場所	数量・区分等	工法	プラント		
⑪ 地盤改良・推進関係	推進工法	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	次のとおり、推進工法を見込んでいる。					
				区間	工法		備考		
		<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し						

項目	事 項	該 当		内 容
(11) その他の工事	取付ますの請求額	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> な し	
	その他の図面	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（2023年4月1日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管の位置調査	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
	工事完成のお知らせ	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。
	週休2日適用工事 発注者指定	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	「発注者指定型」 本工事は、週休2日対象工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。
		<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	「受注者希望型」 本工事は、週休2日対象工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	

福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施について

1 福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。

(1) 「週休 2 日」とは、次のアからイまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。

ア 「完全週休 2 日（土日）」とは、対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの 7 日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1 週間に 2 日以上の現場閉所等を行うものをいう。

イ 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4 週 8 休（現場閉所等の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。

(2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。

(4) 「対象期間」とは、工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア 年末年始 6 日間及び夏季休暇 3 日間

イ 工場製作のみが行われている期間

ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(5) 「発注者指定型」とは、週休 2 日適用工事として発注者が指定するものをいう。

(6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休 2 日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

2 週休 2 日は、次の各号に定めるところにより実施するものとする。

(1) 完全週休 2 日（土日）

1 (1) アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が 7 日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休 2 日

1 (1) イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では 4 週 8 休に満たない月又は日数が 28 日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実

施できるものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。なお、週休2日実施を希望しない受注者は、6～7に規定する義務を負わない。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事にあっては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあっては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費の補正は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - (1) 発注者指定型
月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。
 - (2) 受注者希望型
週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。
- 11 土木工事に係る経費の補正係数については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。
 - (1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03
 - (2) 月単位の週休2日
ア 労務費 1.02

イ 共通仮設費 1.01

ウ 現場管理費 1.02

12 11(1)ア及び11(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工とする。

13 建築工事に係る経費については、次の各号に掲げる現場閑所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

14 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

15 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日	完全 週休2日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付栓工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルービング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

土木工事標準単価の補正係数

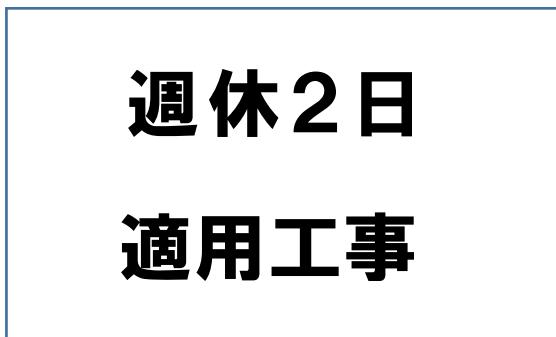
名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休 2 日	完全 週休 2 日 (土日)
区画線工		1. 02	1. 02
高視認性区画線工		1. 02	1. 02
橋梁塗装工		1. 01	1. 01
構造物とりこわし工	機械	1. 01	1. 01
	人力	1. 02	1. 02
コンクリートブロック積工		1. 02	1. 02
排水構造物工		1. 02	1. 02

別記様式

(1) 土木工事

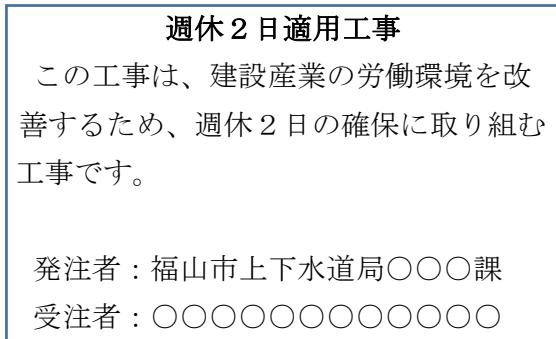


(2) 建築工事



(A3 サイズ以上)

(3) 共通



(A3サイズ以上)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数	0	凡例
適用単価地区	70 福山市	Co … コンクリート As … アスファルト
単価適用日	00-07.08.01(0)	DT … ダンプトラック BH … バックホウ
諸経費体系	1 公共(一般)	CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC…ラフテレンクレーン
	当世代	前世代
工種	31 下水道工事 (2)	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
I C T 補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 0 %	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費				X1000	
管路施設(開削工法)	1	式		Y1101	レベル1
管きょ工(開削)	1	式		Y110101	レベル2
管路土工	1	式		Y11010101	レベル3
管路掘削		式		Y1101010101	レベル4
機械掘削工(バックホウ)	70	m3		SG1D0001002 00	単第0 -0001 表
管路埋戻		式		Y1101010102	レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	70	m3		SG1D0002003 00	単第0 -0003 表
管路土留工	1	式		Y11010105	レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
たて込み簡易土留		式			Y1I01010502 レベル4
建込工(両側分) 掘削深 2.0m以下	38	m			SG1D0032001 00 単第0 -0005 表
建込工(両側分) 掘削深 2.5m以下	4	m			SG1D0032001 00 単第0 -0007 表
引抜工(両側分) 掘削深 2.0m以下	38	m			SG1D0032002 00 単第0 -0008 表
引抜工(両側分) 掘削深 2.5m以下	4	m			SG1D0032002 00 単第0 -0009 表
たて込み簡易土留賃料	1	式			F000000033 00
開削水替工	1	式			Y1I010109 レベル3
開削水替		式			Y1I01010901 レベル4
ポンプ運転工	2	日			SG1D0042001 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
据付・撤去工	1	現場			SG1D0042002 00 単第0 -0012 表
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断		m			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	83	m			SPK25040307 00 単第0 -0013 表
舗装版破碎		m2			Y1101060102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	162	m2			SPK25040306 00 単第0 -0014 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	73	m2			SPK25040306 00 仮舗装 単第0 -0014 表
殻運搬処理		m3			Y1101060105 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)	16	m3			SPK25040155 00 単第0 -0015 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)	4	m3			SPK25040155 00 仮舗装 単第0 -0015 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As塊受入費 再資源化施設	16	m3			F0000000022 00
As塊受入費 再資源化施設	4	m3			F0000000022 00 仮舗装
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3
不陸整正		m2			Y1101060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	162	m2			SPK25040234 00 単第0 -0016 表
下層路盤(歩道部)		m2			Y1101060303 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	41	m2			SPK25040236 00 単第0 -0017 表
上層路盤(歩道部)		m2			Y1101060305レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RM-40	41	m2			SPK25040238 00 単第0 -0018 表
基層(車道・路肩部)		m2			Y1101060306レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当たり平均仕上厚50mm	162	m2			SPK25040242 00 単第0 -0019 表
表層(車道・路肩部)		m2			Y1101060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当たり平均仕上厚50mm	162	m2			SPK25040244 00 単第0 -0020 表
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
上層路盤(歩道部)		m2			Y1101060305レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚50mm 1層施工 RM-40	66	m2			SPK25040238 00 单第0 -0021 表
表層(歩道部)		m2			Y1101060409 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当たり平均仕上厚50mm	73	m2			SPK25040247 00 单第0 -0022 表
既設構造物撤去工	1	式			Y11010609 レベル3
既設管撤去		m			Y1101060902 レベル4
撤去鋼管切断 呼び径： 250mm A種管	9	口			SQ000003 00 单第0 -0023 表
撤去鋼管吊上げ積込み（機械施工） 管径： 250mm A種管	41	m			SQ000007 00 单第0 -0025 表
既設管閉塞		m			Y1101060902 レベル4
充填工	1	m3			SQ000061 00 单第0 -0028 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
充填設備据付撤去工	1	箇所		SQ000063 00	单第0 -0030 表
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS 50	4	m		F0000000101 00	
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90° イボ HITS継手 50	2	個		TQ001697 00	
ねじ込み式可鍛鉄製管継手 ソケット 50 内外面エボキシ樹脂コーティング	2	個		TQ000703 00	
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 バルブ用ソケット 金属入り TS継手 50 型	2	個		TQ100467 00	
鉄板 250×6mm	2	枚		F0000000102 00	
溶接工	1	m		SG1E0602001 00	单第0 -0032 表
鉄板削孔 50×6mm	2	口		F0000000103 00	
既設人孔撤去		箇所		Y1101060903 レベル4	

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0033 表
殻運搬処理		m3			Y1101060105レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0034 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co塊受入費 再資源化施設	1	m3			F0000000023 00
現場発生品運搬		回			Y1101060621レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	2	t			SPK25040411 00 単第0 -0035 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	2	t			SPK25040412 00 単第0 -0036 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外] , 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
スクラップ 鉄屑	2	t			F9000000020 00
仮設工	1	式			Y110105 レベル2
交通管理工	1	式			Y11010501 レベル3
交通誘導警備員		式			Y1101050101 レベル4
交通誘導警備員B 2人配置	18	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬費		t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式		S1000007 00	単第0 -0037 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

位 置 図

S=1:10000

工事施工箇所

(7 - 1)

福山市上下水道局

2025年度 市単独 下水道事業

工事名称	下水道施設撤去工事
------	-----------

工事場所 湘南本綱下水道

管渠埋設平面図・管渠埋設縦断面図 管渠埋設横断面図・舗装復旧断面図

加茂處理分区

位 置 図 $S=1 : 10,000$

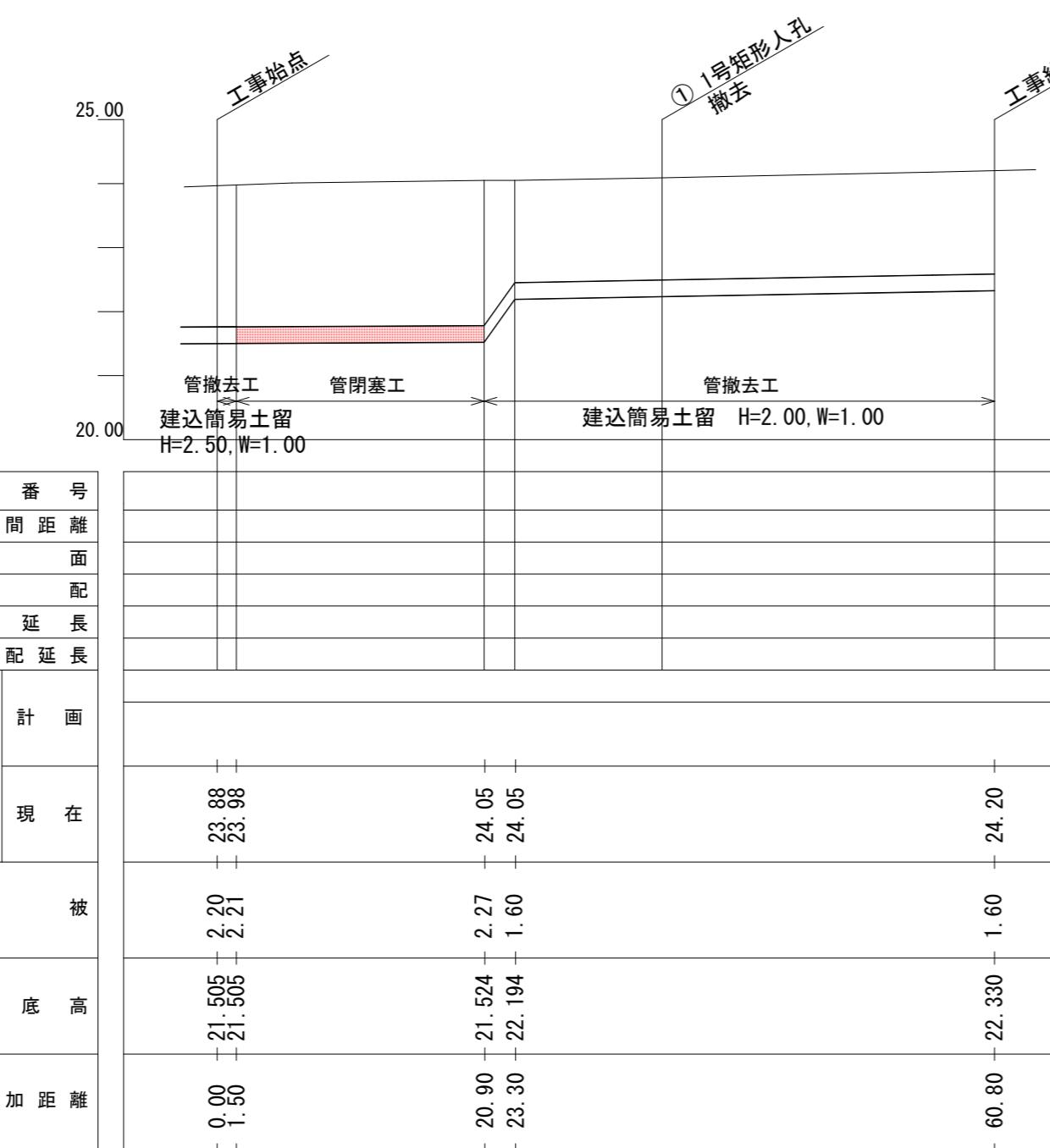


工事施工箇所

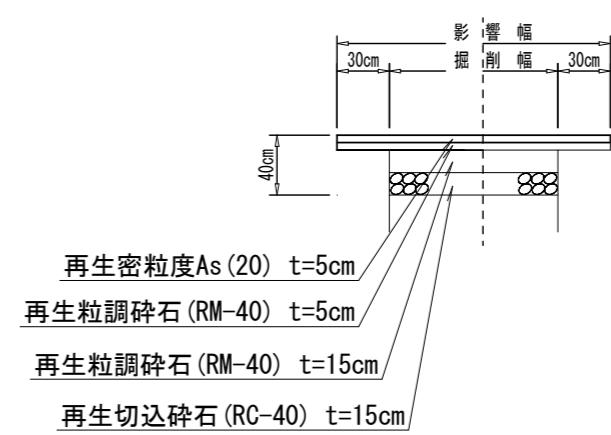
※この図面は縮小しています。

(原図サイズ A-2)

縦=1/100
横=1/500



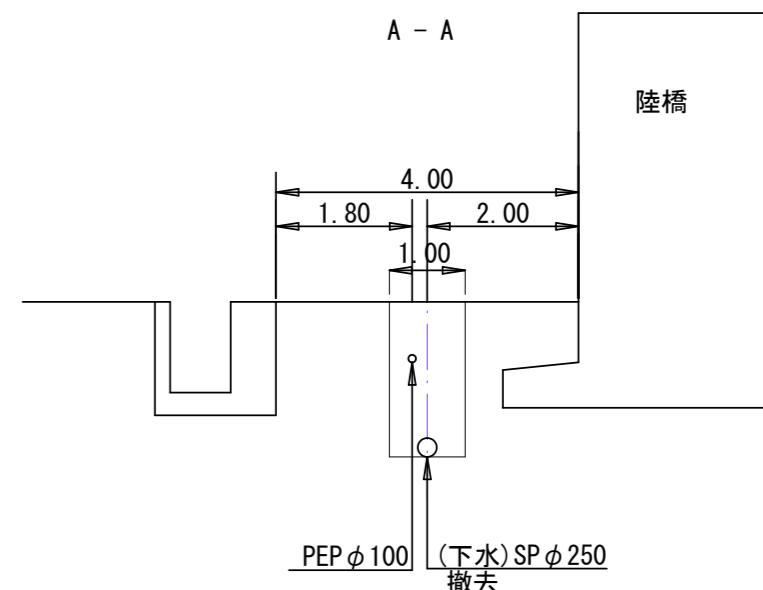
舗装仮復旧断面図 S=1 / 50



舗装復旧断面図 S=1 / 50

表層工(再生密粒度アスコン)
基層工(再生粗粒度アスコン)
上層路盤工(再生粒調碎石)
下層路盤工(再生切込碎石)

管渠埋設横断面図 S=1/100



参 考 図 書

施工單価表

頁0 -0001

機械掘削工(バックホウ)

SG1D0001002

单第0 -0001 表

1 m3 当り

施工單価表

頁0 -0002

機-01_バックホウ運転

SM0102020

113 標準型 排2

山積0.28m³(平積0.2m³)

单第0 -0002 表

1

時間 当り

施工単価表

頁0 -0003

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
* * * 単位当たり * * *	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

頁0 -0004

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0004 表

1 m3 当り

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,658.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0005

建込工(両側分)
掘削深 2.0m以下

SG1D0032001

単第0 -0005 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.20	人			
特殊作業員	0.20	人			
普通作業員	0.40	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	1.1	時間			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m当たり(計/10m)					
* * * 単位当たり * * *	1	m			
A=2 掘削深 2.0m以下					

施工單価表

頁0 -0006

機-01_バックハウ運転

SM0102020

山積0.28m³(平積0.2m³)

单第0 -0006 表

1

時間 当り

施工単価表

頁0 -0007

建込工(両側分)
掘削深 2.5m以下

SG1D0032001

単第0 -0007 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.23	人			
特殊作業員	0.23	人			
普通作業員	0.47	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	1.3	時間			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m当たり(計/10m)					
* * * 単位当たり * * *	1	m			
A=3 掘削深 2.5m以下					

施工単価表

頁0 -0008

引抜工(両側分)
掘削深 2.0m以下

SG1D0032002

単第0 -0008 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.12	人			
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.23	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	0.12	日			
諸雑費	1	式			
1m当たり(計/10m)					
* * * 単位当たり * * *	1	m			
A=2 掘削深 2.0m以下					

施工単価表

頁0 -0009

引抜工(両側分)
掘削深 2.5m以下

SG1D0032002

単第0 -0009 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.14	人			
特殊作業員	0.14	人			
普通作業員	0.27	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	0.14	日			
諸雑費	1	式			
1m当たり(計/10m)					
* * * 単位当たり * * *	1	m			
A=3 掘削深 2.5m以下					

施工單価表

頁0 -0010

ポンプ運転工

SG1D0042001

单第0 -0010 表

1 日 当り

施工單価表

頁0 -0011

工事用水中ポンプ損料

SGAD0042001

单第0 -0011 表

1 日 当り

施工單価表

頁0 -0012

据付・撤去工

SG1D0042002

单第0 -0012 表

1

現場 当り

施工単価表

頁0 -0013

舗装版切断

アスファルト舗装版

機械構成比: 15.05% 労務構成比:

SPK25040307

アスファルト舗装版厚15cm以下

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0013 表

1

m

当り

標準単価:

700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工單価表

頁0 -0014

舗装版切断

アスファルト舗装版

機械構成比： 15.05% 労務構成比：

SPK25040307

アスファルト舗装版厚15cm以下

58.43% 材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

单第0 -0013 表

1

当12

標準単価：

700.44000

施工単価表

頁0 -0015

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

障害等無し 舗装版厚15cm以下

SPK25040306

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0014 表

1

m2

当り

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比:

44.05%

労務構成比:

39.87%

SPK25040155

DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)

材料構成比:

16.08%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0015 表

1

m3

当り

標準単価:

2,923.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=29 運搬距離6.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0017

不陸整正

補足材料無し

機械構成比: 21.58% 労務構成比: 71.86% 材料構成比: 6.56% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0016 表

1 m2 当り

標準単価: 174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工單価表

頁0 -0018

不陸整正

SPK25040234

单第0 -0016 表

補足材料無し

機械構成比：

代表機材規格(積算地区) 構成比 単価(積算地区) 代表機材規格(東京地区) 単価(東京地区) 備考

施工単価表

頁0 -0019

下層路盤(歩道部)

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

SPK25040236

単第0 -0017 表

1

m2

当り

機械構成比: 5.00% 労務構成比: 75.15%

材料構成比: 19.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m ³	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m ³		MTPC00169 MTPT00169
<貢>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40~0mm	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352

施工単価表

頁0 -0020

下層路盤(歩道部)

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

SPK25040236

単第0 -0017 表

1

m2

当り

機械構成比: 5.00% 労務構成比: 75.15%

材料構成比: 19.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0021

上層路盤(歩道部)

SPK25040238

単第0 -0018 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RM-40

1 m2 当り

機械構成比: 4.66% 労務構成比: 69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m ³	2.78%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m ³		MTPC00169 MTPT00169
<貢>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.66%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 40~0mm	23.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F0000000104 TTPT00360

施工単価表

頁0 -0022

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚150mm 1層施工

RM-40

SPK25040238

単第0 -0018 表

1

m²

当り

機械構成比: 4.66% 労務構成比: 69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 C=104 【F】路盤材(m ³)			B=4 D=1 路盤材(各種) -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0023

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.63% 労務構成比: 12.02%

SPK25040242

1層当たり平均仕上厚50mm

材料構成比: 86.35%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0019 表

1 m2 当り

標準単価: 1,532.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貯>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<貯>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<貯>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.40%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0024

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.63% 労務構成比: 12.02%

SPK25040242

1層当たり平均仕上厚50mm

材料構成比: 86.35%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0019 表

1 m2 当り

標準単価: 1,532.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	77.19%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	8.47%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=8 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生粗粒度アスコン(20) -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1 1層当たり平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当たり平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当たり平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0025

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

SPK25040244

1層当たり平均仕上厚50mm

機械構成比: 1.44% 労務構成比: 10.68%

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0020 表

1

m2

当り

標準単価:

1,723.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貯>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.92%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<貯>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<貯>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0026

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.44% 労務構成比: 10.68%

SPK25040244

1層当たり平均仕上厚50mm

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0020 表

1 m2 当り

標準単価: 1,723.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	84.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) -(全ての費用)			B=50 E=1 H=1 1層当たり平均仕上り厚(mm) PK-4 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当たり平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当たり平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0027

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚50mm 1層施工

RM-40

SPK25040238

単第0 -0021 表

1

m2

当り

機械構成比: 4.66% 労務構成比: 69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m ³	2.78%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m ³		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.66%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 40~0mm	23.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F0000000104 TTPT00360

施工単価表

頁0 -0028

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚50mm 1層施工

RM-40

SPK25040238

単第0 -0021 表

機械構成比: 4.66% 労務構成比:

69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

1 m2 当り

標準単価:

920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=50 C=104 【F】路盤材(m3)			B=4 D=1 路盤材(各種) -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0029

表層(歩道部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.48% 労務構成比: 52.76%

SPK25040247

1層当たり平均仕上厚50mm

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0022 表

1 m2 当り

標準単価: 1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.10%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	46.58%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

頁0 -0030

表層(歩道部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

SPK25040247
1層当たり平均仕上厚50mm

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

52.76% 材料構成比: 46.76% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0022 表

1 m2 当り

標準単価: 1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当たり平均仕上り厚(mm) E=5 漆青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当たり平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当たり平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工單価表

頁0 -0031

撤去鋼管切斷

呼び径： 250mm

SQ000003

A種管

单第0 -0023 表

1

1

当り

施工單価表

頁0 -0032

钢管切断（墨書き及び切断のみ）

管径： 250 mm

SQ142

A種管

单第0 -0024 表

1

□ 当り

施工單価表

頁0 -0033

撤去鋼管吊上げ積込み（機械施工）

管径： 250mm

SQ000007

A種管

单第0 -0025 表

1 m 当り

施工單価表

頁0 -0034

鋼管吊込み据付(機械施工)

SQ064

A 種管

单第0 -0026 表

10 m 当り

施工單価表

頁0 -0035

機-1_バックハウ運転

S9006

クローラ[標準・クレーン付]山0.45m³ 2.9t 排出ガス対策型1次基準

单第0 -0027 表

1

時間 当り

施工単価表

頁0 -0036

充填工

SQ000061

単第0 -0028 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
特殊作業員	2.000	人			
普通作業員	2.000	人			
注入材 セメント500kg, ベントナイト100kg	10.000	m3			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量200L/min	1.000	日			
グラウトミキサ 並列2槽式 搅拌容量300L×2槽	1.000	日			
機-16 発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1.000	日			単第0-0029 表
諸雑費	15	%			#09
1m3当り(計/発泡系充填材標準打設量)					
* * * 単位当たり * * *	1	m3			
A=3 管閉塞 C=100 【F】充填材料費(m3)			B=1 エアモルタル		

施工單価表

頁0 -0037

機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA

S9469

排出ガス対策型1次基準

单第0 -0029 表

1

日 当り

施工單価表

頁0 -0038

充填設備據付撤去工

SQ000063

单第0 -0030 表

1

箇所 当り

施工單価表

頁0 -0039

クレーン付トラック運転（賃料）

S9000031

单第0 -0031 表

1 日 当り

施工單価表

頁0 -0040

溶接工

SG1E0602001

单第0 -0032 表

1 m 当り

施工單価表

頁0 -0041

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

单第0 -0033 表

1 m3 当り

施工単価表

頁0 -0042

殻運搬

Co(無筋)構造物とりこわし

機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82%

SPK25040155

DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

材料構成比: 14.41%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0034 表

1

m3

当り

標準単価:

2,106.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

頁0 -0043

現場発生品及び支給品運搬

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

機械構成比: 13.79% 労務構成比:

SPK25040411

片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)

83.40% 材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0035 表

1

t

当り

標準単価 :

2,743.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 C=5 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0044

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し

SPK25040412

単第0 -0036 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.73% 労務構成比: 83.47% 材料構成比: 2.80% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価 : 9,566.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.73%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	41.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊					

施工單価表

頁0 -0045

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬

S1000007

運搬距離 10km

製品長 12m以内

单第0 -0037 表

1 式 当り

施工單価表

頁0 -0046

基本運賃

運搬距離 10km

S1000009

製品長 12m以内 運搬質量 1.6t

单第0 -0038 表

1

式 当り

施工單価表

頁0 -0047

積込み, 取卸しに要する費用

S1000009

单第0 -0039 表

1

式 当り